

●東京ディズニーランド

待ちに待った夢の国、ディズニーランド！コロナによる制限が無くなり、さらに今年はオープン40周年というお祭りムードも相まって、平日にもかかわらず園内は多くの人で一杯でした。三大マウンテンの一つのスペースマウンテンは、リニューアルのためかクローズとなっていたようですが、残り二つのスプラッシュマウンテンとビッグサンダーマウンテンに乗れた生徒は多かったようです。

千円分のミールクーポンを活用し、夕飯はディズニーランド内で食べました。中には20分以上並んでやっと買えたという大変なレストランもありましたが、「どれも美味しかった」の声にとてもうれしくなりました。

『美女と野獣』のアトラクションは軽く1時間を越える待ち時間。私は諦めましたが、パレードの時間に一気に空き、その時間に入れたというグループもありました。8時間近くパーク内にいましたが、半分くらいの時間に感じられるほど楽しく、夢の国の時間を満喫することができました。

【3日目】 ●東京タワー

東京スカイツリーに押されて少し影が薄くなったようにも感じられますが、東京のシンボルはまだまだ東京タワーです。下から見上げるとその存在感に圧倒されます。展望台からは、富士山が見えたそうです。

(私は見逃してしまいました。)



●チーム・ラボ

名前だけを聞くと、一体どんなところだろう？と思いますが、簡単に説明すると「最新のテクノロジーによる映像を駆使した動く美術館」と言ったところでしょうか。部屋ごとにテーマが異なり、膝下ほどの高さの水の中（本物の水）を裸足で歩いて行くと映像の鯉が泳いでいて、水面に浮かぶ花に触れるとキラキラした線香花火のような光に変わる部屋があったり、次々と色の変わる光の部屋やバルーンの部屋、宇宙空間からさまざまな花が降り注ぐような部屋、本物の植物が頭上からぶら下がり、花で埋め尽くされたような部屋があったりと、どの部屋も見応えがあり、入った瞬間には、生徒たちから「わーっ」「きれい！」「すごい！」と歓声が上がっていました。

半分以上は海外からのお客さんで、日本人として誇らしく感じられました。今回訪れた『チームラボプラネッツTOKYO DMM 豊洲』は期間限定での開催のため、今年の12月末までで終了だそうです。良いタイミングで見ることができて良かったです。



●上野散策

上野動物園や国立科学博物館、国立西洋美術館などが立ち並ぶエリアで、見学したい場所を選択し、自由に見て回ることができました。時間が限られていたので、十分な見学はできなかったと思いますが、東京での最後の見学地を1分1秒を惜しむように楽しんでいました。

この“密な”3日間は宝物のような一生の思い出になることでしょう。少し時が経つと、また皆で行きたいなあと思うものです。帰って来て仙台の良さや我が家の良さを再確認できるのも、旅に出たからこそです。キラキラと輝く思い出を胸に、これからまた勉強や運動に励んでほしいものです。



○・Yさんとのお別れ会

2組の○・Yさんが、5月26日の登校を最後に転出することになりました。学年でささやかながら本人にはサプライズのお別れの会を開きました。

